

08京都市長選挙闘争方針

今こそ、「日本の夜明けは京都から！」 - 京都市長選挙勝利、中村和雄市長の誕生で、京都から「格差と貧困の一扫」「人間らしく働き、生きる権利の確立」の大きな流れをつくりだそう！

1 08京都市長選挙がたたかわれる情勢と勝利の展望

1 京都市長選挙の告示[2月3日(日)]、投票[2月17日(日)]が迫ってきました。今回の京都市長選挙は、京都市民と京都に働くもののいのちとくらしがかかった大事な選挙戦です。京都総評も参加する「いま正義を・京都市政を刷新する会」(市政刷新の会)の中村和雄さんを京都市長におしあげ、今度こそ市民のくらし最優先の京都市政に刷新しようではありませんか！ 今、広範な国民の中で「くらしを何とかしてほしい」、「そのためにも政治を変えたい」という思いが広がってきています。昨年夏の参議院選挙以降国民の声が政治を動かす新たなおもしろいがんばりがいのある情勢が生まれてきています。「人間らしく生きる権利の確立」、「時給1,000円の実現、若者らの雇用の確保」を掲げる中村和雄さんが京都市長に当選すれば、京都から「格差と貧困」をなくしていく、「人間らしく働き、生きる」社会にしていく新しい流れがつくりだされていくことはまちがいありません。京都市長選挙に勝利して、今こそ、「日本の夜明けを京都から」という状況をつくりだしていこうではありませんか！

2 京都市職労がおこなった「06京都市政評価アンケート」では、現在の榊本京都市政に対し、「大いに不満」が49.9%、「少し不満」が28.1%と8割近い人が不満を持っています。そして、京都市に対して、「国保・介護負担の軽減」、「同和特別扱いの廃止」、「医療・福祉の充実」、「大型公共事業見直し」を強く求めています。現市政のもとで不祥事事件が相次ぎ、93人もの職員が逮捕され、500人もの職員が懲戒処分されています。背景に歪んだ同和選考・同和行政があることは明らかです。現市政の3期・12年間で、国保料、介護保険料、上下水道料金、市バス・地下鉄運賃、ゴミ袋の有料化など358億円も市民負担が増やされました。この3年間で、国保料と住民税の引き上げに対する苦情で10万人を超える市民が区役所の窓口におしかけました。資格証明書の発行が4千通、短期証は1万8千通、返戻・未更新も合わせると、2万5千世帯も本来の国保証を受け取っていません。その一方で、京都市内への高速道路乗り入れなどのムダな公共事業は推進されてきました。こうした不祥事事件が相次ぎ、市民のくらし

破壊を進めてきた現在の京都市政を“継承”するのか、それとも中村和雄市長の誕生で京都市政を根本から“刷新”するのが、今回の京都市長選挙の最大の争点です。

3 お隣の大阪市長選挙や大阪府知事選挙に見られるように民主党が独自候補を出す動きが強まってきているにもかかわらず、今回の京都市長選挙では、共産党を除くオール与党＝市議会与党3会派は、市民と政策論争不在の野合で、前京都市教育長を推薦しました。しかし、相変わらずの「大連立」と「庁内候補」に対する市民の批判は、根強いものがあります。しかも、オール与党が推薦する前教育長は、御所南小学校、御池中学、堀川高校、西京中高一貫校など一部の学校を特別扱いする一方で、一般の学校運営費を2割カットするなど格差教育と歪んだ同和教育を進めてきた人物です。同和運動団体の不正な補助金支出をめぐる裁判で117万円の返還を命じられ、京都市から処分された人物です。昨年12月には、違法な研究委託事業をめくり裁判所から7200万の返還命令を受けました。出馬表明の記者会見では、市民不在・市民いじめの現市政を高く評価し現市政を継承すること、「乾いたタオルをしぼるような、さらなる（市民いじめの）行財政改革」を推進することを公言しています。こうした不正・違法に手を染めた人物が、京都市長にふさわしくないのは明らかです。一方、わたしたちが支持・推薦する中村和雄さんは、水俣病の被害者救済が弁護士活動の原点の、弱い立場に立つ人の痛み・苦しみ分かる正義の弁護士であり、若者の非正規雇用問題をはじめとした労働・雇用問題の専門家です。また、「市民ウォッチャー京都」の幹事として、京都市の不正・腐敗、歪んだ同和行政を一貫して追求してきたまさしく京都市長に最善・最適の人です。

4 現在のオール与党による市民不在の市民いじめの市政を継承するのか、それとも中村和雄市長を誕生させて市政を根本から刷新し、市民の暮らし最優先の市政に転換するのか - 争点は鮮明であり、人物・候補者もマニフェストも優位にたっており、きわめてわかりやすい、たたかいやすい選挙戦になってきています。また4人の有力候補が立候補する混戦となり、京都市民やマスコミの関心も高まってきており、おもしろい状況となってきています。この間、新人同士の対決となった1989年の木村万平さんの選挙（321票差）、1996年の井上吉郎さんの選挙（4092票差）では大激戦となり、あと一步のところまで相手陣営を追い込みました。この間の情勢の進展や、市民の京都市政と「大連立・庁内候補」に対する強い批判と「くらしをよくしたい、そのためにも政治を変えたい」という願いや要求を考えれば、これまで以上に勝利する可能性が広がってきています。

2 08京都市長選挙をたたかうにあたっての京都総評の要求

1 ILO94号条約にもとづく公契約条例を制定すること。京都市及び京都市に關係・関連して働く労働者の時給を1,000円以上とすること。青年の雇用対策を強化すること。公正な取引と適切な賃金確保ができるよう入札制度の改善をおこなうこと。公的

- 就労事業を起こし、積極的な雇用の創出をおこなうこと。
- 2 住宅改修助成制度の創設、耐震改修助成制度の充実をおこなうこと。
 - 3 国民健康保険料を引き下げること。国民保険証のとりあげはおこなわないこと。介護保険料・利用料の減免制度の充実をはかること。乳幼児医療助成制度の拡充をおこなうこと。生活保護の実施にあたって申請権の侵害や事実上の強制的な給付打ち切りを行わないこと。障害者自立支援における受益者負担を見直すこと、障害児・者に対する生活支援を強めること。福祉人材確保新指針にもとづいて、福祉労働者の賃金・労働条件の改善を図ること。
 - 4 30人学級を実現すること。教育予算の増額をおこない、教育条件を抜本的に改善すること。教職員の増員などゆとりある教育を実施すること。老朽化し危険な学校施設の改修を早期におこなうこと。就修学援助の充実を図ること。
 - 5 京都市内への高速道路計画の中止をはじめ、ムダな公共事業の見直し・中止をおこなうこと。新景観条例にもとづき、京都の町の保全・再生をはかること。LRTの導入、パーク&ライドの実施など、環境に配慮し、誰でも安価で安心して移動できる公共交通の充実を図ること。有料ゴミ袋の負担軽減、分別収集の徹底をはじめ、ゴミの減量化を図ること。地球温暖化防止対策を強化すること。
 - 6 伝統・地場産業、中小零細企業の振興策を強化すること。大型店の出店規制と卸・小売業対策を充実させること。京都市の農業を守る施策を進めること。
 - 7 職員犯罪・不祥事事件の一掃と「同和」特別扱いの完全終結をおこなうこと。

3 0 8 京都市長選挙闘争方針

- 1 今回の京都市長選挙を、労働者・労働組合の要求実現のたたかいと位置づけ、たたかいます。
- 2 京都市政の現状に対する批判と暴露の活動、中村和雄さんのマニフェストの学習・宣伝行動を強化します。
- 3 「市政刷新労働者の会」と協力して、京都市政の刷新、中村和雄京都市長誕生の一点での「共同」の拡大に努力します。「市政刷新の会」の一員として、「民主市政の会」をはじめ他の諸団体と共同してたたかいます。京都市内に働くすべての労働者を視野に入れ、中村和雄さんへの支持の拡大をめざします。
- 4 各単産・京都市内地区労におけるたたかいの交流の活動を重視します。迅速なニュースを発行するとともに、適宜会議を開催します。
- 5 京都府下全域及び全国からの支援を呼びかけます。
- 6 「京都総評京都市長選挙闘争本部」の活動を強化し、京都総評の総力を挙げたたたかいを展開します。「08京都市長選挙にあたっての自治体選挙闘争カンパ運動」にとりくみます。

(以上)